

2019 年度

# 学校要覧



学校法人光の村学園

光の村養護学校土佐自然学園

## 目 次

1. 創 立 .....	1
2. 沿 革 .....	1
学園生活アルバム	
3. 光の村の教育 .....	6
(1) 教育課程の内容	
1. 暮らしの質を変える「生活指導」	
2. 体の質を変える「体育」	
3. 手の質を変える「作業教育」	
4. ことばと生活の質を変える「教科教育」	
(2) 学習の内容	
1. 教科教育	
2. 技術教育	
4. 生徒の状況 .....	8
(1) 学部・学年別在籍生徒数	
(2) 知的障害の程度	
(3) 併せ持つ障害・疾病	
(4) 出身地別生徒数	
5. 教職員組織 .....	10
(1) 2019年度学校教職員名簿	
(2) 学校運営組織	
6. 主要年間行事予定 .....	12
7. 光の村全体図 .....	13
8. 高等部卒業生の進路状況 .....	14
(1) 進路状況（卒業時）	
(2) 職種別就職状況（卒業時）	
9. 光の村組織図 .....	15
10. 光の村案内図 .....	16

# 1. 創立

終戦直後から知的障害児教育に取り組んだ創立者西谷英雄は、木工指導を続けるうちに技能の訓練から技術の教育へと高めることができるという確信を持った。昭和 34 年に中卒者の職業訓練所（紙器工場）を作って実験教育を続け、昭和 44 年に実業高校的な私立の高等部養護学校を開設した。昭和 50 年に専攻科、昭和 58 年に中学部を開き 8 年制の学校となった。

## 2. 沿革（光の村のあゆみ） ●印は児童寮以外の社会福祉法人関係

- 昭和 34 年度 高知市旭天神町 301 の高知市立旭小学校に開設されていた、城西中学校養護学級分室の中へ教育機関・光の村職業補導所を併設。これが生涯教育総合施設光の村の始まり
- 36 年度 財団法人高知県精神薄弱者職業補導協会を設立
- 38 年度 補導所に寮を併設し「生活と職業指導」の総合的な教育機関とする
- 41 年度 光の村職業補導所を私立の学校に、寮を知的障害児施設に切り替える
- 43 年度 土佐市新居に校舎(231 m<sup>2</sup>)と寮舎を建築する
- 44 年度 学校法人光の村養護学校として開校（本科 3 年・別科 2 年）  
初代校長に西谷英雄が就任
- 45 年度 2 階建ての新校舎を竣工 第 1 回強歩大会を実施（波介山越え 30 k m）
- 46 年度 ●更生施設たかぎ寮を開設 知的障害児施設を光の村わかぎ寮と命名  
第 1 回高等部卒業旅行として韓国に行く
- 47 年度 ●通勤寮を高知市旭天神町 301 に開設 旭寮とする（任意施設）  
第 2 回高等部卒業旅行として韓国に行き木浦共生園（孤児院）と交流
- 49 年度 プール着工
- 50 年度 別科を廃止 専攻科を開設 技術教育を柱とする 5 年制の青年期学校になる  
プール完成  
●株式会社フクシ（ダンボール製造機械の製作）を土佐市新居に設立
- 51 年度 カッターボート 2 隻を作り海洋教室を開く
- 53 年度 江戸川区西小岩にアフターケアセンターを開設  
●通勤施設ときわ寮を土佐市新居にスタート  
第 1 回室戸サイクリングを開始(現在に至る) 第 1 回土佐市駅伝大会に出場
- 54 年度 ●夫婦寮を建設  
校内に乳幼児保育室を開設 土佐市と共同で障害幼児教室も開設  
東京でパン工場を作るために職員をパリに留学
- 55 年度 ●卒業生の仕事場としてパンの店「株式会社プチットルミエール」を江戸川区に開設
- 58 年度 中学部を開設  
ルミエール内の製菓工場を株式会社光の村南風堂として土佐市に移転  
京都府下に「綾部農園」を開設 ●首都圏光の村の設立用地を千葉市に購入
- 59 年度 職員住宅を土佐市新居に建設  
江戸川区で新しいパン工場用建物を購入
- 60 年度 東京江戸川区にパン実習工場有限会社「光の村お母さんのパン本舗」として再開  
知的障害児施設「わかぎ寮」を新築移転

- 61年度 埼玉県に養護学校を新設 「光の村養護学校秩父自然学園」と称す  
土佐市の学校を「光の村養護学校土佐自然学園」と改称  
「お母さんのパン本舗」を学校法人光の村学園東京分室とする
- 62年度 食品加工を中心に綾部分室を開設
- 63年度 ●社会福祉法人首都圏光の村を設立 千葉光の村授産園と称す(4年制の教育授産)
- 平成元年度 卒業旅行を再開 北海道へ  
光の村養護学校秩父自然学園に高等部開設
- 2年度 高3の卒業旅行を宮古島トライアスロン挑戦とする この年度は専2も加わる  
その他の学年は3つのイベント旅行に別れ実施  
トライアスロンへの挑戦を契機に校内フルマラソン大会・遠泳大会を開始
- 3年度 生活棟完成 建築工事中中学生は安芸市畑山分室へ移転 年度末3月に帰校  
専2生徒2名 全日本トライアスロン宮古島大会に出場 完走  
西谷壽子が校長に就任
- 4年度 ●夫婦寮としてグループホームを作る 2組入居
- 6年度 中3卒業旅行土佐湾一周旅行を実施(現在に至る)
- 7年度 ●神戸市に教育授産施設用地を購入  
●小規模作業所・神戸光の村南風堂を開設
- 8年度 高等部専攻科棟の建設に着工  
石川県小松市に分室を開設  
株式会社南風堂を廃止 学校実習工場として製菓部門をつくる  
光の村養護学校土佐自然学園後援会を結成 ●卒業生が1組結婚、グループホーム  
に入居
- 9年度 高等部専攻科棟完成  
石川県小松分室を廃止、有限会社「光パックス石川」を開設  
●竹炭工場、石炭工場を開設
- 10年度 体育館を建設  
●更生施設たかぎ寮を移転新築 第2グループホームができる(4名入所)
- 11年度 創立30年・体育館落成記念式典を挙行 記念誌発刊  
●更生施設たかぎ寮の移転新築記念研究大会を開催  
第1回新居地区敬老会を行う
- 13年度 橋本大二郎高知県知事、学校・施設を視察 天皇陛下お下賜金を受ける
- 14年度 ●神戸光の村授産学園(30名)を開設  
生活棟内外の改装工事を実施 ●(有)光の村工房を神戸に開設
- 15年度 実習部門に文旦作業が加わる  
学校に併設する寄宿舍が正式に学校寮になる
- 16年度 石川県加賀市長来校  
神戸ラッセホールで研究会をもつ(中3の卒業旅行に神戸へ)  
●東京光の村授産園竣工式  
学校安全優良校として文部科学大臣表彰を受ける
- 17年度 本館校舎落成式式典  
学校安全優良校として、内閣総理大臣賞を受賞する
- 18年度 ●第4,5グループホーム設置許可  
近隣の高校へパンや菓子の出張販売をはじめる

- 19年度 光の村学園理事長（西谷英雄）、神戸光の村授産学園の園長を辞し、土佐へもどる  
卒業生が全日本トライアスロン宮古島大会に参加 好成績を残す
- 20年度 第2文旦農園を購入  
高齢障害者雇用支援機構より理事長表彰  
高知県知事より理事長表彰  
中国から視察団来校（教師2、生徒2）  
●卒業生が光の村内に第二号の住宅を建設
- 21年度 ●「就労支援事業所ひかりの村」が開所  
創立40年記念式典  
高3宮古島卒業旅行20回記念大会式典を行う  
ペスタロッチー教育賞を理事長受賞  
●第7ひかりホーム完成（平成22年3月完成）
- 22年度 児童寮（わかぎ寮）の新築移転計画が決まり工事に着工  
県耐震化等補助金を得て年度末3月に完成
- 23年度 児童寮（わかぎ寮）新築落成 新年度から使用開始  
3月31日付けで病氣療養中の西谷壽子校長退任
- 24年度 北野光子が校長に就任  
校内実習場を長年支えた卒業生の退職と支援変更が決まる  
●第3グループホームが完成（民間アパートの使用を中止）
- 25年度 カッターボート、動力船修復展示完成  
11月13日 光の村学園理事長西谷英雄死去（享年87歳）  
2014年2月13、14日私立特別支援学校連合会教職員研修会担当校  
2014年2月16日 高知龍馬マラソン2014に専攻科生徒初参加し全員完走  
完走後春野陸上競技場で成人式を祝う
- 26年度 井村雄三が学校法人光の村学園理事長就任  
中3卒業旅行3泊4日土佐遍路コースをとる  
高知龍馬マラソン2015に専攻科生徒参加し全員完走
- 27年度 2015年10月7日中国浙江省視察団来校  
2015年10月14日全国知的障害福祉関係職員研究大会高知大会のウエルカムアトラ  
クシオンに学園生徒・教員が参加演奏  
2015年12月紙器工場耐震補強工事完成
- 29年度 2018年2月プール改修工事

# 学園生活アルバム

## ○大自然の中の全人教育…力強い青年を育成する

吉野川の激流を下る



登山



200キロ室戸サイクリング



清流仁淀川を下る



波介山歩行訓練



## ○暮らしの教育・全面的な自立

自分のことは自分でする



今よりきれいに



食事も自分で作る



## ○からだの教育 足からの教育

強歩大会



遠泳大会



フルマラソン大会



体育祭



○仕事の教育

ープロを目指すー 技能教育から技術教育へ



製パン実習



製菓実習



文旦実習



校内実習から現場実習へ

土佐市は全国でも有名な生菓の産地でもあります

○中学部卒業旅行 土佐遍路 27~35 番札所 約 120kmの遍路道を歩く



お願いを書いて折鶴をお供えました



日記を書いて



靴下を洗濯



出迎への保護者とゴール写真

○高等部卒業旅行 宮古島トライアスロン ー中・高6年間の総決算ー

青年たちはこの力で社会へ巣立つ



宮古島市役所表敬訪問



気合を入れてスイム3km



155km・バイク



42.195kmフルマラソン



3種目完了後保護者と宮古島市陸上競技場で

## 3. 光の村の教育

### (1) 教育課程の内容

#### 1. 暮らしの質を変える「生活指導」

子供の心身のおかしさは、そのほとんどが過保護によって作られたもので、いわば栄養過剰による根腐病的現象である。だから学校を、まず子供たちが助け合って自立する生活共同体にして「依存する根っこ」を「自立する根っこ」に育てなおす。光の村養護学校が全寮制であるのはそのためである。土を作り、作物を育てる篤農家のように、丹念に育てなおせば、子供たちは必ず自立の方向へと歩む。すべての教育はここから始まる。

#### 2. 体の質を変える「体育」

身長、体重という形態面の発達は標準並みでも、胸囲となると標準以下の者が多い（体脂肪を差し引いた数値）。肺活量も標準値にとどく者が少なく、心肺機能の発達の遅れが目立っている。これは過保護のため幼い時から力いっぱい息をはずませるような活動が少なく、何事もあなた任せの依存生活が作った体質である。だから持久力は極めて弱く、少しの負荷ではてる者が多い。その上に柔軟性が低い。表面的には柔らかそうに見えても、関節のすべてが錆びついたように固く、動きが鈍く、不器用である。瞬発力も低く、跳躍力などはほとんど育っていない。だから感覚機能も育っていない。この鈍重で不器用でひ弱な依存体質を、機敏で器用でたくましい自立体質に作り変えて、健康で能力いっぱい働いて長生きをする人間に育てる。

#### 3. 手の質を変える「作業教育」

子供たちに手は何に使うかと聞くと、「もらう、食べる、遊ぶ」と答える。依存生活は消費するだけであるから強さも器用さも育てない。この子供たちの手は発達が大きく遅れている。知的障害児は、労働によって強く、賢く、豊かな人間に仕上がる。枯れ枝のような手を、たくましく器用な手に変える訓練を徹底し、仕事に習熟し上達することで、大脳を活性化し、表情を引き締め、考えて働く人間に育てる。

#### 4. ことばと生活の質を変える「教科教育」

「暮らしと体と手の質」が変わり、消費するだけの人間から力強く生産する人間に変われば当然子供は全人的に賢く生まれ変わる。植物も根の働きが活発であれば、葉の同化作用も活発で良い花を咲かせるように、人間も全身で活発に活動すれば頭の働きも活発になる。こうなると、読む学習も、書く学習も、話す学習も、計算する学習も向上し、言語の構造が変わる。つまり、依存する言語構造から自立する言語構造へと転換するのである。

## (2) 学習の内容

### 1. 教科教育

各教科を総合単元、あるいは単独のドリル学習等によって学習内容を構成する。

領 域	ねらい
言 語	「良く聞きわかること、はっきりと話すこと、読むこと、書くこと」等、日本語を使い分ける能力は、依存する生活の中では十分育たない。学校のあらゆる場面で、あらゆる時間を特設して指導を徹底する。
数 量	実際の活動の中で具体的に指導する。目測能力も向上させる。
生 活	あたりまえの暮らし方を徹底して指導し、何事も人に頼らず自力でやり遂げようとする態度と、それを支える技能を確かに身につける。仲間に合わせること、仲間を思いやること、常に相手の立場にたって物事が考えられること、ルールを理解して守ること等、社会人の基礎をしっかりと育てる。「なぜ」「どうして」「そうするとどうなる」という考える習慣も確かに育てたい。
体 育	力強く、しなやかで、敏捷性がある、持久力の高い体作りを徹底し、良い暮らし、良い仕事の基礎を確実に育てる。
情 操	特に音楽を中心に日本語を正しく発音して、美しく歌う指導をする。ハーモニカその他の楽器に親しみ、美しい音を出すこと、仲間とともに演奏することの指導をする。和太鼓では、正確なリズム、力強く曲想豊かな表現の指導を徹底して我が校の校技といえるものに仕上げる。校外での演奏活動を積極的に行い、文化面からの社会参加する機会を多く持つ。

### 2. 技術教育

本校では、技術教育を全人教育の中核に置き、次のような実習場をもっている。

作業実習	面 積	建 物	設備と教育
紙器実習	844.93 m <sup>2</sup> 193.20 m <sup>2</sup>	鉄骨造鋼板葺2階建 軽量鉄骨スレート鋼板葺 平屋建	紙器加工および印刷に関する基礎的な技能・技術の教育を行う。
製菓・製パン実習	107.20 m <sup>2</sup>	鉄骨造鋼板葺平屋建	製菓・製パンに関する基礎的な技能・技術の教育を行う。
木工実習 割り箸実習	247.5 m <sup>2</sup>	鉄骨造スレート葺平屋建	木工工芸に関する基礎的な技能・技術の教育を行う。 山から竹を切り出し、割り箸を製造。割り箸に使えない部分は粉碎して肥料にする。エコを考える生活教育として展開。
農業実習	2.12 ha	農園・文旦園	農場、果樹園等の栽培に関する基礎的な技能・技術の教育を行う。

## 4. 生徒の状況

### (1) 学部・学年別在籍生徒数

学部 性別	中学部				高等部本科				高等部専攻科			合計
	中1	中2	中3	小計	高1	高2	高3	小計	専1	専2	小計	
男	1	2	2	5	2	5	4	11	2	4	6	22
女	0	0	1	1	2	1	1	4	0	1	1	6
計	1	2	3	6	4	6	6	15	2	5	7	28

### (2) 知的障害の程度

学部 程度	中学部	高等部本科	高等部専攻科	合計
最重度	1	2	1	4
重度	0	6	4	10
中度	1	5	1	7
軽度	4	2	1	7
計	6	15	7	28

### (3) 併せ持つ障害・疾病

学部 障害・疾病	中学部	高等部本科	高等部専攻科	合計
自閉症・自閉的傾向	2	6	5	13
情緒障害	2	2	1	5
注意欠陥多動性障害	0	1	0	1
てんかん	0	2	1	3
ダウン症候群	0	1	0	1
硬化症	0	0	1	1
言語障害	1	2	1	4
アレルギー	1	0	0	1
安定剤または眠剤	1	4	3	8
身体障害手帳	0	1	0	1
視覚障害	0	0	1	1
ブラダー・ウィリー症候群	0	1	0	1

(4) 出身地別生徒数

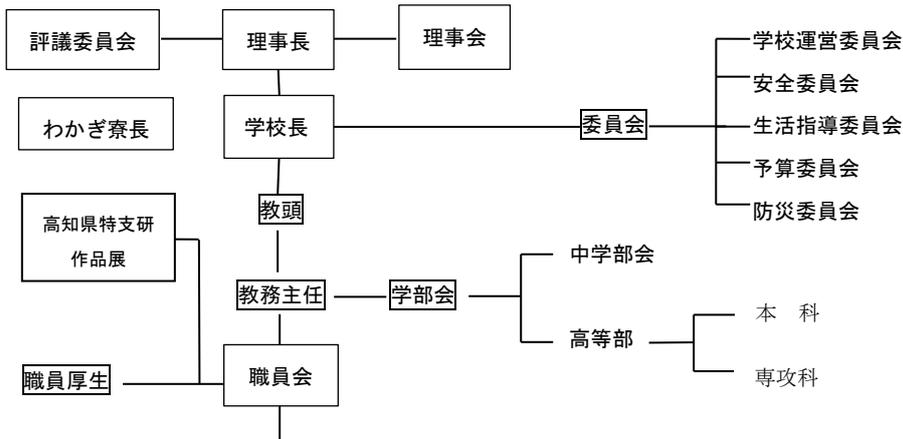
都道府県	中学部	高等部本科	高等部専攻科	合計
高知	4	6	4	14
愛媛	1	1	1	3
香川	0	1	0	1
徳島	0	2	0	2
兵庫	0	0	1	1
大阪	1	1	1	3
三重	0	1	0	1
愛知	0	1	0	1
埼玉	0	1	0	1
東京	0	1	0	1
計	6	15	7	28

## 5. 教職員組織

### (1) 2019年度 学校教職員名簿

番号	職名	氏名	
1	理事長	北野 光子	
2	校長	小峯 淳	
3	教頭	古庄 勝博	進路指導主任
4	教諭	清水 尚司	中学部担任
5	同	石黒 由佳	中学部副担任
6	同	岩上 華綸	高1クラス担任
7	同	岡村 豪	高1クラス副担任
8	同	多田 昌史	高2クラス担任
9	同	清水 智	高2クラス副担任・紙器実習担当
10	同	松原 統一	高3クラス担任
11	同	森澤 諒哉	高3クラス副担任
12	同	宮崎 妙美	専1クラス担任
13	同	谷岡 伸俊	専1クラス副担任・紙器実習担当
14	同	吉本 史生	専2クラス担任・文旦実習主任
15	同	西谷 紀子	専2クラス副担任・音楽主任・南風堂実習担当
16	同	岸田 幸司	南風堂主任 煎餅主任
17	同	佐々木啓介	製パン主任
18	技術指導員	野瀬 海	製パン 煎餅 和洋菓子担当
19	同	橋本由香利	和洋菓子担当
20	実習助手	今堀 武司	
21	同	北脇 拓実	
22	教諭	大盛 浩文	寄宿舍舎監
23	寄宿舍指導員	山中 絹代	
24	同	西村 一昌	
25	技術指導員	佐々木盛秀	
26	事務職員	吉村 武彦	学校法人事務全般
27	同	山崎 由佳	土佐校実習場事務・秩父校事務全般（育休中）

## (2) 学校運営組織

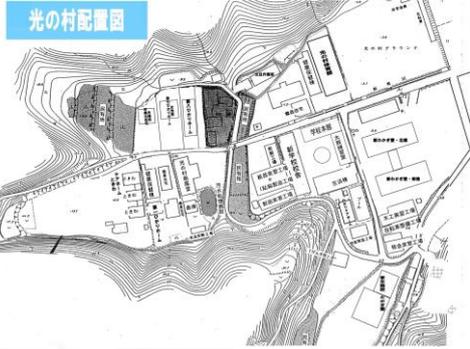


管理部	教 務	資料・公簿（帳簿）・行事 年度未冊子等合本整理 文書・広報・調査・統計 教科書採択 入学選考（相談・体験入学） 公用車運行計画 教育課程
	教具・備品	図書 体育用具 農耕用具木工用具 音楽用具（含太鼓） 保健用具 家庭科用用品 視聴覚用具 各学級備品 製パン備品 製菓備品 せんべい備品 紙器備品 備品台帳 事務・行事用備品（含 机・椅子・スリッパ） 生活備品 調理用具
	施 設	火気取り締まり・戸締まり 環境整備 掃除区域配当、用具集配修繕、大掃除立案 除草管理（含 中庭） 塵埃処理（含 不燃物処理） 水源地管理、水質検査、し尿処理 建設・営繕（焼却炉）
研究部（私特連研修会）		
指導部	生活指導部	生活指導部 生徒会 誕生会
	作業学習指導部	製パン 製菓 せんべい 紙器 農耕・文旦 割り箸 木工
	単元学習指導部	卒業旅行 マラソン 龍馬マラソン 強歩 サイクリング 文化祭・敬老会 遠泳 体育祭
	教科学習指導部	保健体育 情操 言語 数量 家庭
	行事指導部	親子合宿 夏期合宿 家庭学校
	進路指導・後補導（現場実習）	
親の会		
後援会・賛助会		
事務部	法人・学校経理 庶務・渉外 備品 建設・営繕 職員福祉 生活部門	
光の村資料館準備室		

## 6. 主要年間行事予定

	学校行事など	保健・安全	進路指導など	その他
4	光の村全体会 新任式・離任式 入寮式・始業式 入学式 第1回家庭学校	身体測定 視力・聴力・色覚検査 新入生健康状態把握 足裏撮影・歯科検診 火災避難訓練	関係機関との連携 進路懇談会 希望調査 職業センターとの 打ち合わせ	各地区親の会 後援会役員会 総会
5	強歩大会 親子合宿・後援会総会 障害者スポーツ大会	身体測定 第1回健康診断	進路希望調査 専攻科現場実習 職業ガイダンス	各地区親の会 理事・評議員会
6	プール開き	身体測定・人工呼吸法・救急法講習 会・水泳の健康管理・プール消毒 地震津波火災避難訓練	職業相談・職安 家庭より実習	
7	夏期合宿・遠泳大会 終業式・期末懇談会	身体測定・プール消毒・水泳の健 康管理	専攻科現場実習	
8	第2回家庭学校 後期特別合宿（高3） 始業式	飲料水検査 夏期合宿環境衛生 プール消毒	家庭から実習	後援会総会
9	プール納め	身体測定・環境整備 地震津波火災避難訓練		
10	体育祭 高等部卒業旅行 中学部卒業旅行	身体測定・インフルエンザ予防注 射接種希望用紙配布	専攻科現場実習	
11	入学選考 室戸サイクリング	身体測定・安全点検 第2回健康診断 インフルエンザ予防注射接種	専攻科現場実習 高3現場実習 就職内定	
12	にこにこふれあいフェア 入学者決定 学習発表会敬老会（新居地 区）・終業式 期末懇談会・第3回家庭学校	身体測定	専攻科現場実習 高3現場実習	後援会総会
1	始業式	身体測定		
2	短縮マラソン大会 高知龍馬マラソン・成人式 フルマラソン大会	身体測定		
3	卒業式・春期文化祭 修了式・期末懇談会 第4回家庭学校	身体測定 地震津波火災避難訓練	入社・入所	後援会総会 理事・評議員会

# 7. 光の村全体図



中庭からみた本館



本館



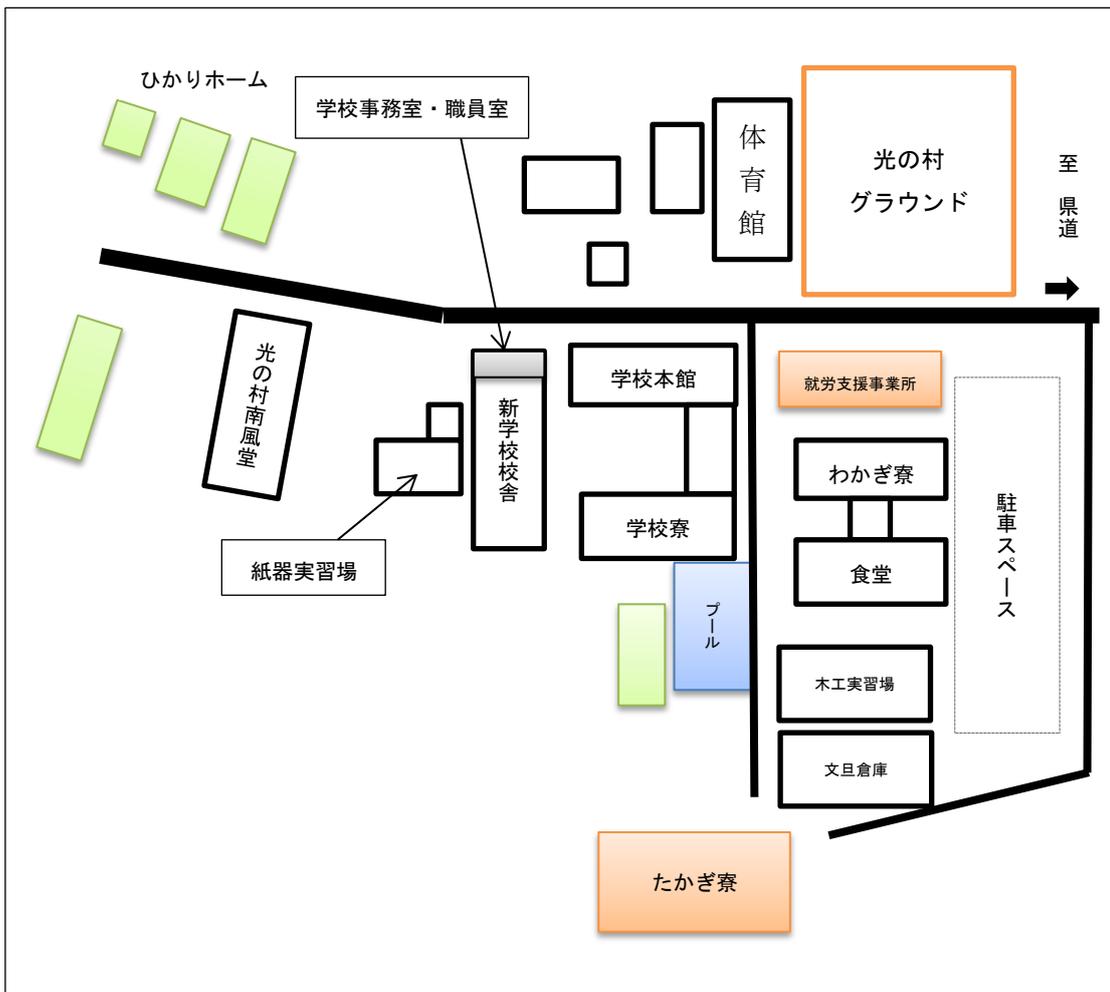
紙器実習場



グラウンド



南風堂と移動販売車



## 8. 高等部卒業生の進路状況

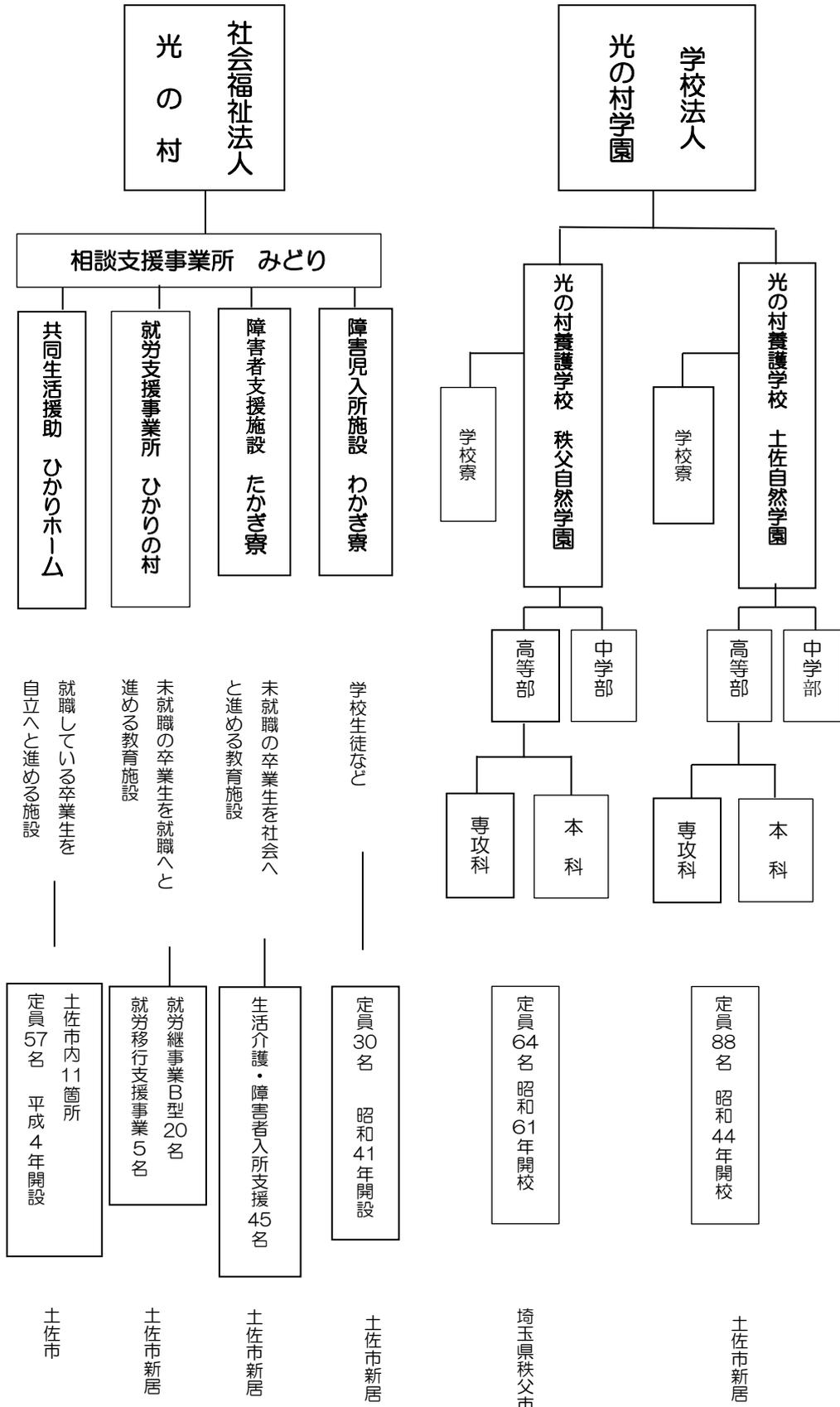
### 高等部本科卒業生進路

		H21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
進 学	本校専攻科	4	7	9	7	3	2	2	6	5	2
	各種学校	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1
就 職	食品加工業	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0
	製造業	0	2	0	1	0	0	0	1	0	1
	サービス業	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
	小売業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福 祉 就 労	就労継続A型	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	就労移行・就労継続B型	4	0	0	0	0	2	1	2	3	1
	生活介護	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
卒業生数		9	10	9	9	4	4	6	13	8	5

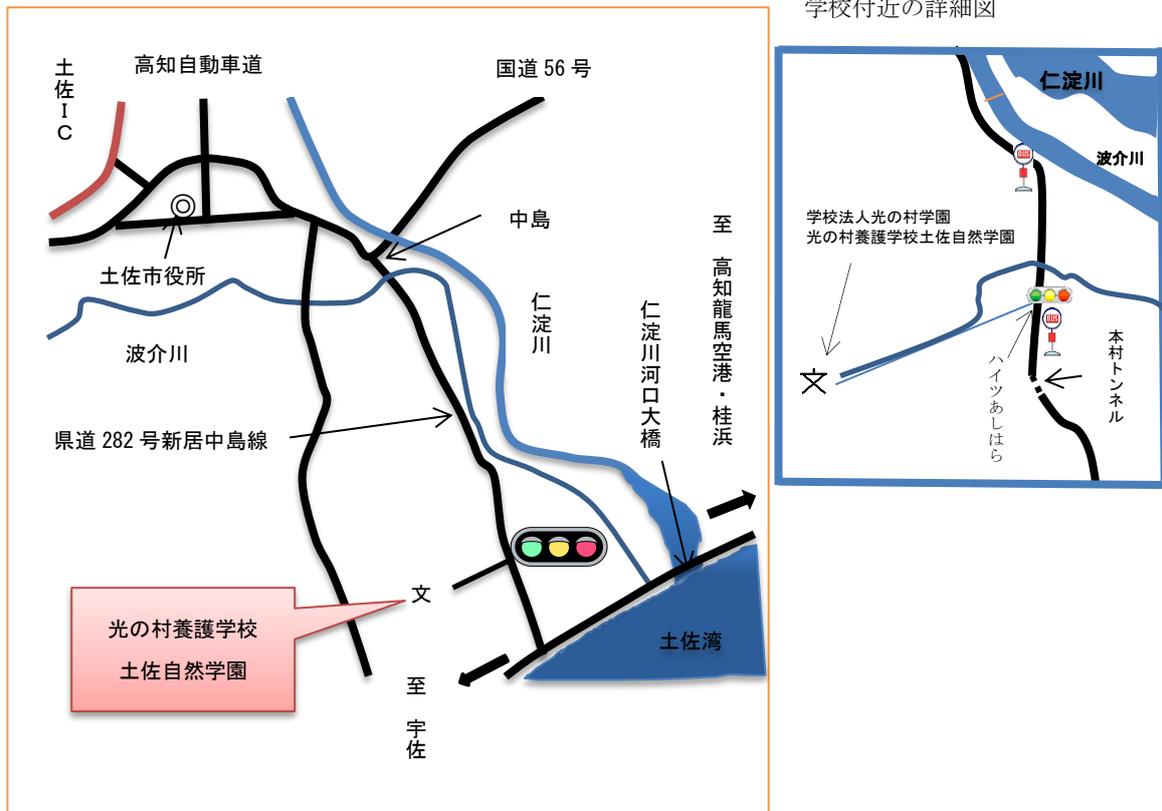
### 高等部専攻科修了生進路

		H21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
就 職	食品加工業	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	製造業	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0
	サービス	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
	小売業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	清掃業	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福 祉 就 労	就労継続A型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	就労移行・就労継続B型	2	4	0	1	7	3	1	1	1	1
	生活介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害者支援施設		3	3	2	2	0	1	1	1	1	1
光の村学園研修科		0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
修了生数		6	11	3	5	7	5	3	2	2	2

# 9. 光の村組織図



## 10. 光の村案内図



### 《交通手段》

#### ○自動車の場合

高知自動車道經由・・・土佐インターで降りて高速進入路とバイパスとの交差点で左折し高知市方向に東進し、宇佐・新居方面の看板を目印に（仁淀大橋手前）の交差点を右折して、途中小さな峠（今渡峠）を超えて道なりに進み、本村トンネルの手前の点滅信号を右折（土佐インターから約15分）

高知空港方面から・・・高知空港からは黒潮ライン（県道14号）を西へ、浦戸大橋を渡って海沿いを道なりに進み、「文庫の鼻トンネル」を過ぎさらに海沿いに直進（県道23号）し仁淀河口大橋を渡って最初の信号の三叉路を右に進み（県道282号）、トンネルを抜けてすぐの点滅信号を左に曲がる。

#### ○公共交通利用の場合

高知空港から・・・空港連絡バスで高知駅へ。高知駅前から「とさでん交通」バス「宇佐行き」乗車。「奥谷通り光の村前」下車。徒歩15分。

高知駅から・・・高知駅前から「とさでん交通」バス「宇佐行き」乗車。「奥谷通り光の村前」下車。徒歩15分。高速バスを利用の方は高知駅で降車して上記の方法で。

学校法人光の村学園

光の村養護学校土佐自然学園

〒781-1154 高知県土佐市新居 2829

電話 088-856-1069

FAX 088-828-6570 (職員室直通)

ホームページ <http://hikarinomura.ed.jp/>

E-mail ifhikari@hikarinomura.net